

# 開成の杜

第92号 ●2013年10月10日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) http://www.koriyama-kgc.ac.jp ●発行人／学園長 関口 修



大賞の報に沸く大学・短大・教職員の参加者



理事長・学園長  
関口 修

## 実りの秋に思う

われてしまいましたのは残念でなりません。何故この様な状況に成ったのでしょうか。私なりに思いを巡らして見たことを述べ、皆さんの御意見を待ちたいと思います。

ひと雨ごとに温かくなり、ひと雨ごとに寒くなる日本の四季。記録的な猛暑の日々が過ぎ、何時しか涼風が心に馴染んできたような昨今です。学生・生徒・園児の皆さんは有意義な夏を過ごし、成長した自分を実感している事とします。

私達の国、日本の四季は誠に素晴らしい四季です。歳の暮れの諸行事から、お正月には梅や桜の花を思い、その早からんことを願いながら、一年間の無事を祈願する慣わしは、日本独特の精神文化ではないでしょうか。大切にしなければなりません。やがて、待ち焦がれていた梅と桜が咲き、人びとの動きが活き活きとします姿を見るのは心地よい思いがします。そして夏、田圃に水がはられ、稲が元気を漲らせ、蛙の鳴く音や蝉の声を聞きながらカキ氷を喜ぶのが普通の夏でしたが、今年の夏は洪水や洪水に見舞われ記録破りの猛暑に悩まされた夏でした。

今は秋です。本来ならば、栗や梨・葡萄などを初め、秋刀魚・キノコ・落ち鮎と美味しい味覚に溢れていたはずでしたが、平成23年3月11日以来、徐々に回復の兆しはあれども秋の味覚を楽しむ心が奪

# 東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う平成26年度入学予定者に対する授業料等減免措置に新たな支援項目の追加と「特待生対象者の拡充」に関するお知らせ

## 郡山女子大学 郡山女子大学短期大学部への 受験生の皆さまへ

郡山女子大学  
郡山女子大学短期大学部  
学長 関口 修

東日本大震災で被災された皆さまへ

まへ心からお見舞い申し上げます。  
 本学が平成24年度入学者から実施しております減免措置7項目に加え、新たに「風評被害等により家計支持者の所得が減少し、学費支弁が困難になった方」への項目を追加いたします。

また下記のように特待生の特典の

項目を拡充いたします。

●特待生・入学金及び授業料の全額を免除と判定された者を学科・専攻・コースごとに1名選考する。

●特待生に準ずる者：入学金及び授業料の半額を免除と判定された者を、学科・専攻・コースごとに定員の1割ないし2割選考する。

被災種別番号	被災内容	授業料等減免支援基準	授業料等減免申請書に添付する証明書類
①	家計支持者(家計維持者)が死亡した方、または行方不明と立っている方	入学金・授業料他(施設充実費・教育充実費を含む)を最長で、大学生は4年間、短大生は2年間、全額免除する。	被災による死亡または行方不明の証明書(平成23年度交付のもの)
②	家計支持者(家計維持者)が失職している方	授業料を7割免除する。免除期間は、再雇用されるまでとし、最長で大学生・短大生ともに2年間とする。	解雇通知書、勤務先等発行の失職証明書、被災による自営業の廃業を証明する書類、自営業の製品・農家の農産物の出荷停止等を証明する書類など
③	家計支持者(家計維持者)が2名で、そのうち1名が失職している方	授業料を3割5分免除する。免除期間は、再雇用されるまでとし、最長で大学生・短大生ともに2年間とする。	解雇通知書、勤務先等発行の失職証明書、被災による自営業の廃業を証明する書類、自営業の製品・農家の農産物の出荷停止等を証明する書類など
④	家計支持者(家計維持者)が長期入院している方	授業料を半額免除する。免除期間は、入院期間に応じて決定する。	被災による長期入院を示す証明書など
⑤	自宅が全壊または流出した方	入学金・授業料を全額免除する。免除期間は、大学生・短大生ともに1年間とする。	全壊または流出の罹災(被災)証明書(平成23年度交付のもの)
⑥	自宅が半壊した方	入学金・授業料を半額免除する。免除期間は、大学生・短大生ともに1年間とする。	半壊の罹災(被災)証明書(平成23年度交付のもの)
⑦	自宅が平成23年度指定の「原発事故警戒区域」(20キロ圏内)ならびに「計画的避難区域」にある方	入学金・授業料を全額免除する。免除期間は、大学生・短大生ともに1年間とする。	原発事故被災による警戒区域・計画的避難区域であること、および避難措置を示す証明書(平成23年度交付のもの)など
⑧	風評被害等により家計支持者の所得が減少し、学費支弁が困難になった方	授業料を5割ないし7割免除する。免除期間は、家計支持者(家計維持者)の所得が学費支弁可能となるまでの期間とする。	所得証明書またはそれに代わるもの(源泉徴収票・確定申告書等【コピー可】)

\*原則として提出書類は原本とします。提出された証明書は、後日返却いたします。\*⑧が新たに追加された支援項目です。

これら制度の運用を希望される方は支援制度を確認し、申請書に記入して、被災を証明する書類や入学願書と一緒に提出してください。合否判定結果と同時に認定結果を通知します。

申請書は本学のホームページからダウンロードしてください。  
 これらの問い合わせ先  
 郡山女子大学  
 教務部・入学事務部まで

## 第49回学園教育充実研究会 「学び合い、教え合う学園へ」

第49回学園教育充実研究会(大・短大・教員及び事務局職員)が9月13日、建学記念講堂小ホールを主会場に開催された。本会は、本学園教職員のための研修大会である。8月5日に高校の部、8月20日に幼稚園の部が実施され、その締めくくりとして9月13日に大・短大・短大・事務局職員が主催された。



初めて開催されたワールドカフェ

TEL 024(932)4848(代)  
 FAX 024(933)6748  
**平成25年度方別教育懇談会  
 8会場で開催**

本学園の平成25年度方別教育懇談会が6月29日の仙台、浜通り方部会から始まり、7月15日の県南方部会(白河)までの8会場で開催された。郡山方部会には300人が出席して7月6日、建学記念講堂で開催された。

明珍賢司家族会会長、関口修学園長が挨拶。山本教務部長からは単位の履修・認定や取得可能な免許状・免許証・資格等の説明があった。田辺学生生活部長からは「学生生活の指導について」説明があり、森就職部長が学園の就職支援体制や、大学・短大の就職率などを説明した。この後、(株)デイスコ東北支社の菅野健朗氏が「現在の就職環境と時代の変遷」と題して講演した。



講演する帝京大学 井上史子准教授

したグループ討議を行った。「ワールドカフェ」とは、お茶やお菓子を囲んだ和やかな雰囲気の中で、意見交換を行う討議法である。途中、メンバーを替えながら、多様な意見に触れるというのも大きな特徴である。討議のテーマは「郡山開成学園の魅力について考えよう」であった。多様な意見に触れることで、教職員一同、学園の魅力を再発見する機会となった。

午後には、教員の部と事務局職員の部に分かれ、各々で研修を行った。教員の部の前半では帝京大学から井上史子准教授をお招きし、「学生による能動的学修を目指した大学授業の転換」と題した講演会を開催した。講演では、従来、一方向的な「知識の注入」になりがちであった大学教育を、学生の能動的な学びの場へと転換する必要があるということが述べられた。明快な趣旨と豊富な具体例に、多くの教員がメモを取り、熱心に耳を傾けた。

第2部では、授業改善のための意見交換を目的としたシンポジウムが開催された。下記のように、科目種別に3つの分科会が並列実施された。「学修成果を上げる講義とは」(山本裕詞教授、石田智宏准教授、京免徹

両部会の後、全体会が行われ、各部会の内容が紹介された。最後に関口修学園長より「学び合い」の精神の下、一人ひとりが互いのために何ができるかを考え、行動していくことが大切である」との講評があり、本年度研究会を締め括った。

# —大学院・大学・短大合同説明会開催— 平成26年度「入学者選抜実施内容等説明会」

平成26年度の「大学・短大入学者選抜実施内容等説明会」が6月28日、建学記念講堂を中心に開催され、県内外から56人の進学指導教諭らが参加した。

関口修学長が「本学は除染も進み、安全安心な環境です。学生の授業評価を取り入れた成果が随所に表れ、就職率も100%です。これからも全教職員が一丸となり、指導的な立場に立つ視野の広い人間を育てていきたい」と挨拶した。

影山副学長・授業料等減免支援措置委員長からは26年度は従来の「授業料等減免支援措置」7項目に

加え「風評被害等により家計支持者の所得が減少し、学費支弁が困難になった方」への新たな支援項目も発表された。

安齋入学事務部長が「指定校についての考え方」と「特待生対象者の拡大について」説明した。

次いで各学科の主任教授から学科説明、個別面談では選抜形態に関する具体的な対応や取得できる資格、就職など質問が相次いだ。同時に設置された出身学生との面談会場では、教え子から本学の授業や日常生活などを熱心に聞いていた。

# 平成26年度教育内容等説明会

—附属高校—

平成26年度郡山女子大学附属高等学校教育内容等説明会が、9月13日、建学記念講堂において開催され、県内各中学校の進路指導関係の先生方が、本校の教育内容に耳を傾けた。

午後の5時間目の授業は公開授業とし、日常の附属高校の授業の様子を参観できるようにしたため、中学校の先生方は校舎内を移動しながら参観し、当該中学校出身の本校生と歓談する姿も随所で見受けられた。

全体会は、関口修学園長が、本校の建学の精神と、女性が今日の社会において果たすべき役割について述べ

るところから始まった。次いで、八幡文明校長が、本校の教育方針、本校卒業後の進学状況、平成26年度入学者選考要項、奨学金及び支援金制度等について説明した。

その後、普通科・音楽科・美術科・食物科の学科紹介とそれぞれの特徴について、本校生の生の映像と声を交えながら、各学科主任が説明した。さらに、大学から、山本裕詞教務部長

が高大連携教育、高大連携入試の内容、本学・短大卒業後の就職状況等について説明した。中学校の先生方からは、出願書類等に関する質問

が出された。

【入学者選考の概要】

- 1 募集人員 220名(女子のみ)
- (普通科) 150名
- (音楽科) 15名
- (美術科) 20名
- (食物科) 35名
- 2 選考種類
- 推薦生・特待生・学力選考生

## 平成26年度入学案内概要

### ◆募集人員

#### 【大学院】

本大学院は、本大学家政学部人間生活学科及び食物栄養学科を基礎に、人間生活学研究科人間生活学専攻の修士課程(2年)、さらに博士(後期)課程(3年)を設けている。

○人間生活学研究科  
修士課程10名(含昼夜開講制)。  
博士(後期)課程3名。

#### 【大学】

家政学部人間生活学科40名(生活総合コース10名・建築デザインコース10名・福祉コース20名)。家政学部食物栄養学科80名。

#### 【大学3年次編入】

本大学では、両学科とも3年次への編入を認めている。募集人員は両学科とも各10名。

短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程を卒業、修了または見込

みが条件であるが、同等以上の学力があると認められた者も出願できる。

#### 【短期大学部】

家政科福祉情報専攻 40名  
家政科食物栄養専攻 120名  
幼児教育学科 140名  
生活芸術科 20名  
音楽科 30名  
文化学科 40名

#### 【専攻科文化学専攻】

人間の歴史や文化を体系的に学び、総合的な判断力、豊かな人間性を培う。大学評価・学位授与機構の審査をパスすると「文学士」の学位を得ることができる。 10名

#### ◆選抜方法

推薦生(特待生・指定校・公募) 特別生(専門・総合学科/高等専門/専修学校/社会人/高認合格者) / 外国人留学生/帰国子女) / 高大連携生(本附属高校生)

#### AO生(自己推薦)

一般生(入試センター試験併用可)

#### ◆選抜日程

(別項参照)  
◆AO生選抜日程  
I期・II期募集終了。  
III期の募集は次の通りです。

#### ●全学部・学科で実施します。

■大学 家政学部 人間生活学科  
家政学部 食物栄養学科  
家政科 福祉情報専攻  
家政科 食物栄養専攻  
幼児教育学科・生活芸術科・音楽科・文化学科

#### ■短大

面接日 2/28(金)  
面接日 3/7(金)  
合否通知発送日 3/12(水)

\*詳しくは教務部・入学事務部まで

## 平成26年度 入学者選抜日程

	選抜方法	願書受付期間	選抜日	合否通知発送日	手続き締切日
大 学	指定校推薦生・特待生 公募推薦生 I 期 特別生 I 期	10/18(金)~11/1(金)	11/9(土)	11/15(金)	11/28(木)
	高大連携生	10/18(金)~11/1(金)	11/8(金)	11/15(金)	11/28(木)
	公募推薦生 II 期 特別生 II 期	11/15(金)~11/29(金)	12/7(土)	12/13(金)	12/26(木)
	一般生 I 期	1/10(金)~1/24(金)	2/1(土)	2/7(金)	第1回 2/17(月) 第2回 3/20(木)
	一般生 II 期	2/3(月)~2/17(月)	2/21(金)	2/27(木)	第1回 3/13(木) 第2回 3/20(木)
短期大学部	指定校推薦生・特待生 公募推薦生 I 期 特別生 I 期	10/18(金)~11/1(金)	11/9(土)	11/15(金)	11/28(木)
	高大連携生	10/18(金)~11/1(金)	11/8(金)	11/15(金)	11/28(木)
	公募推薦生 II 期 特別生 II 期	11/15(金)~11/29(金)	12/7(土)	12/13(金)	12/26(木)
	一般生 I 期	1/10(金)~1/24(金)	2/1(土)	2/7(金)	第1回 2/17(月) 第2回 3/20(木)
	一般生 II 期	2/3(月)~2/17(月)	2/21(金)	2/27(木)	第1回 3/13(木) 第2回 3/20(木)

### 平成26年度入学者選考に関する日程一覧

選考種類	推薦生	特待生	学力選考生
出願期間	平成26年1月9日(木) 10日(金)		平成26年1月9日(木) 10日(金)
選考日	平成26年1月21日(火) 22日(水)		平成26年1月22日(水)
合格発表日	平成26年1月30日(木) 12:00		平成26年1月30日(木) 12:00
入学手続き日	平成26年2月13日(木)まで		第1次手続き 平成26年2月13日(木)まで 第2次手続き 平成26年3月17日(月)まで

よくみる よくきく  
よくかんがえて  
10月1日から願書受付開始  
附属幼稚園

本園は「よくみる よくきく よくかんがえて」をモットーにして健やかで明るく、素直な、賢い子どもに育てるため、体を鍛え、基本的な生活態度を身につけさせるなど、正しい生活態度を養っている。遠足、お誕生会、お泊り保育などでの友だち関係も大切にしている。

送迎用のスクールバスも運行、延長保育もある本園の26年度願書受付は10月1日から。10月19日は面接日となっている。

### 進学相談会を開催

入学事務部ではおみじ会の両日、進学相談会を開催します。

日時 10月12日・13日  
9時~16時まで

場所 創学館2F ホワイエ

\*お問い合わせは入学事務部まで。

パネル展示や実験等での教育内容を説明

大学 / 人間生活学科

「生活総合コース」「福祉コース」「建築デザインコース」の教育内容を示したパネルで説明した。参加者はそれぞれの担当教員が丁寧にわかりやすく内容を説明した。また、界面活性剤実験、介護体験、建築模型制作などを見学した。



3コースの教育内容の説明を受ける

ビジネスマナーなど3講座で模擬授業を体験

短大 / 家政科福祉情報専攻

「ビジネスマナーを身につけよう」「パソコンの楽しみ方」「オリジナルのストラップを作ろう」の3講座で模擬授業を体験。社会人としてのマナーや名刺の交換の仕方などの指導を受けた。



ビジネスマナーについて説明を受ける参加者

子どもの教育・保育の基本を体験

短大 / 幼児教育学科

参加者からは幼児教育学科の教育目標やカリキュラムと取得資格、就職状況などについての質問が相次いだ。実技では「歌・リズム遊び体験」「造形体験」「乳児保育体験」などを真剣に学んだ。



造形体験に参加

「ハンサムウーマン新島八重の文化史」を学ぶ

短大 / 文化学科

「ハンサムウーマン新島八重の文化史」と取得資格、就職状況などについての質問が相次いだ。実技では「歌・リズム遊び体験」「造形体験」「乳児保育体験」などを真剣に学んだ。



新島八重の実像にせまった

「管理栄養士の仕事の内容を紹介」

大学 / 食物栄養学科

健康を「食」から支える「管理栄養士の仕事」の内容を説明した。管理栄養士の国家試験に向けて授業の充実を図り、模擬試験実施など、万全の支援体制を採っているとの説明。在学学生との懇談では、授業内容、サークル活動、教養講座、芸術鑑賞講座などの質問があった。



管理栄養士の仕事について説明を受ける

「腎臓病食」の試作を体験

短大 / 家政科食物栄養専攻

食物栄養学科では腎臓病の方の食事を参加した高校生が試作、試食した。メインメニューは、低タンパク質中華麺を用いた五日冷麺。当日は2年生が準備に協力した。



腎臓病の方の食事を作る

「絵画・彫刻・デザイン・CG等の実習室を見学」

短大 / 生活芸術学科

絵画・彫刻・デザイン・CGなどの実習室を見学。本科学生と一緒に希望のコースを選びながら見学した。



実習室を見学

ピアノ・声楽・ソルフェージュ等の授業を見学

短大 / 音楽科

ピアノ・声楽・クラリネット・ソルフェージュなどの実技関係の授業を熱心に見学していた。



ピアノの個人レッスンを受ける参加者

無料送迎バス今年は7ルートで運行

短大 / 音楽科

オープンキャンパスに県内外の多くの高校生に参加してもらい、実際に本学を体験してもらおうと今年も無料送迎バスが運行された。昨年の6ルートから7ルートに増便された。米沢市からバスを利用した女子高校生は「朝早い出発だったが、場所を間違えることがなく、しかも無料なので良かったです」と感想を述べた。



見事な歌声を披露する短大・音楽科

全国大会に出場

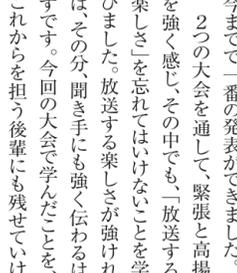
平成25年度全国高等学校総合体育大会(北部九州総体)が大分県を中心に開催され、附属高校新体操部が3年連続12回目の出場。剣道競技には星成美さんと草野千明さんが出場した。第60回NHK杯全国高校放送コンテストには、鶴田明日香さんと高橋妙さんが出場。鶴田さんは第37回全国高等学校総合文化祭・放送部門にも出場した。



出場した星成美選手と松尾先生

放送部

7月23日から25日にかけて東京都で行われた第60回NHK杯全国高校放送コンテストでは、アナウンス、朗読部門から1名ずつ、8月3日・4日に長崎県で行われた第37回全国高等学校総合文化祭には、アナウンス部門から1名が参加しました。大会では、それぞれ悔いの残らない今までの一番の発表ができました。2つの大会を通して、緊張と高揚を強く感じ、その中でも、「放送する楽しさ」を忘れてはいけないことを学びました。放送する楽しさが強ければ、その分、聞き手にも強く伝わるはず。今回の大会で学んだことを、これから担当の後輩にも残していければと思います。



鶴田明日香さん(左) 高橋妙さん(右)

高校生活に技術向上を指導する講習会が7月20日・21日の2日間、芸術館で開催され、延べ70人が受講した。

特集 私たちの学園

学問を通し、女性の生き方を考える。未来に向けた学びの一步

本学の魅力にふれる「オープンキャンパス」開催



オープンキャンパスのオリエンテーション

模擬授業に出席し、施設の見学や在学生との懇談、直接志望学科の先生方からアドバイスが受けられるオープンキャンパス。今年6月16日、7月13日、9月8日の3日間開催された。3日間の参加者は東北各県や北関東、新潟などから1,000人が参加。オリエンテーションでは、関口修学長が建学の精神と沿革、女子の高等教育への熱意を語り、本学の人間教育とその概要を理解を深めた。各料が実施した当日の模様を紹介する。

憧れの高校生生活 附属高校体験入学会開催

附属高校の平成25年度「体験入学会」が、7月27日開催され、郡山市内はもとより県内各中学校から中学生、教員、保護者、合わせて342名が訪れた。全大会は建学記念講堂小ホールにおいて、放送部高橋妙、鶴田明日香の楽しい進行で進められた。最初に八幡文明校長より、「本校において学業と部活動の両立を」と歓迎の言葉が



食物科の授業を体験

述べられ、ビデオによる学校紹介が行われた。さらに、穂積春乃生徒会長の歓迎の挨拶があり、引き続き本校生徒代表・普通科笹山彩花、音楽科齊藤百花、美術科佐藤睦美、食物科芳賀智帆による各科の説明が、高校生生活の体験を踏まえ親しみやすい内容で行われた。また、放送部制作による、部活動紹介ビデオが上映され、会場は熱気に包まれた。全大会後、参加者は施設見学、授業体験のグループに分かれて附属高校の活動を体験した。特に音楽科、美術科、食物科の体験では、実習や実技を通して高校の授業の一端を身体で感じ取ることができ、中学生は満足した様子であった。また、午後から行われた希望者による部活動体験では、高校生の力あふれる演技や動きに圧倒される様子が見られた。また、交流会会場では、本校生徒と参加中学生が、高校の生活全般にわたって様々な意見の交換が行われ、活発な交流が行われた。これらの体験が、中学生の進路選択につながっていくことを期待したい。

NEWS 学園ニュース

「フアイト」を歌い上げ学校長賞 高校内合唱コンクール

クラスが一つになって心の歌を表現する恒例の校内合唱コンクールが、6月26日行われ3年食物科が学校長賞に輝いた。全学年12組が挑戦し、聴衆の心を引き付ける素晴らしい合唱を披露した。成績は次の通り。

- ▽学校長賞 3年食物科
- 金賞 1年1組
- 優良賞 1年食物科
- 2年2組
- 3年2組



美しいハーモニーを披露

第67回福島県合唱コンクール 東北大会へ出場

- 大学ユース合唱
- ▽銀賞 郡山女子大学 開成の杜 女声合唱団
- 高校の部
- ▽金賞 郡山女子大学附属高校
- \*共に東北大会出場

高校内球技大会で 熱戦を展開

●平成25年度 附属高校内球技大会

今年も在学生によるミニコンサートとハンドベルの演奏が行われた。6月16日は短大音楽科17人が「赤いサラファン」「ほたるこい」「夢みたものは」「はるかな友に」の4曲を披露した。7月13日は短大・幼児教育学科11人によるハンデル演奏が行われ、「主、われを愛す」「アマリス」「大きな古時計」など8曲を演奏して、参加者を楽しませた。

ミニコンサート・ハンドベルで歓迎

今年も在学生によるミニコンサートとハンドベルの演奏が行われた。6月16日は短大音楽科17人が「赤いサラファン」「ほたるこい」「夢みたものは」「はるかな友に」の4曲を披露した。7月13日は短大・幼児教育学科11人によるハンデル演奏が行われ、「主、われを愛す」「アマリス」「大きな古時計」など8曲を演奏して、参加者を楽しませた。

団体戦個人戦合わせて3年ぶり4度目の出場となった全国インターハイは、佐賀県総合体育館で開催されました。本校出場選手は、若松第四中学校出身3年4組の星成美です。本人は、親元を離れ本学園の家庭寮で生活しながら練習に励み、自分

剣道部

団体戦個人戦合わせて3年ぶり4度目の出場となった全国インターハイは、佐賀県総合体育館で開催されました。本校出場選手は、若松第四中学校出身3年4組の星成美です。本人は、親元を離れ本学園の家庭寮で生活しながら練習に励み、自分

第57回農業実験実習講習会 本学で開催

7月29日から8月2日までの5日間、本学を会場に第57回農業実験実習講習会(主催「公益財団法人全国学校農場協会」)が開かれた。北海道から兵庫県までの農業高校教諭など22人が参加した。

第64回県南美術展 草野さん(生芸・助手)が 特選・県南美術賞を受賞

生活芸術科助手の草野順子さんの作品「余韻」が最高賞の特選・県南美術賞に輝いた。

デッサンやピアノ演奏の レベルアップのために 短期大学部夏季講習会

美術系コースへ進学を予定している

の目標を達成させました。団体戦では出場できなかった悔しさと、剣道部員達のインターハイへの熱い思いを胸に一杯の試合を展開しました。結果は1回戦敗退でしたが、全国レベルの剣道に触れ課題が見つかりました。剣道は一生修行の武道です。これで終わりでなく、全国大会で敗退したことが本人や剣道部にとり次へのはじまりです。「剣は心なり」をモットーに今後も努力を重ねてまいります。

最終日には聴音や楽典の認定テストが行われた。認定を受けた人と入試科目が免除される。

講義は「デッサン」「CGアート」「彫刻」の3コースで本学の教授等が指導した。受講生は汗を流しながら真剣に取り組んでいた。後期は9月14日、15日に行われた。

音楽科に進学を目指す高校生のための講習会は8月7日から9日まで開かれ、高校生8人がレッスンを受けた。進学希望者の実力向上を目的に毎年開催している。

基礎的な音を聞いて楽譜を書いたり、楽譜通りに歌う「ソルフェージュ」や音楽理論の「楽典」を学んだほか、ピアノや声楽など科目別の個人レッスンを受けた。

昇任 10月1日付 郡山女子大学

善方 美千子助教 助手・授業補助担当

依願退職 9月30日付 短大・食物栄養専攻

庄司 一郎教授 短大・幼児教育学科

郡司 賀透准教授

古川 良子先生(あらかわ・りょうこ) 元郡山女子大学附属高等学校副校長・郡山女子大学講師

8月5日死去 76歳

ご冥福をお祈り申し上げます。

斎藤 洋子先生(さとう・ようこ) 元郡山女子大学教授

7月17日死去 82歳

ご冥福をお祈り申し上げます。

学校法人 郡山開成学園

平成24年度 事業報告

一、法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は、建学の精神「尊敬」「責任」「自由」を教育目標としている。それは、お互いの個性を尊重し、敬愛できる豊かな人柄を創り他者においてそれを認めること、そして、人間として存在するためには、責任ある行動で社会への自覚を持つこと。つまり、個性を重視し、互いに理解する「個の確立」と「他との協調」をもって、自主・自立できる女性としての人間形成を図るのが目的である。

(2) 学校法人の沿革

- 法人名 学校法人郡山開成学園(創立昭和22年4月22日)
○所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号
○代表者 理事長 関口修
○設置学校名
郡山女子大学大学院
開設：修士課程平成4年4月
博士課程平成8年4月
郡山女子大学
開設：昭和41年4月
郡山女子大学短期大学部
開設：昭和25年4月
郡山女子大学附属高等学校
開設：昭和32年4月
郡山女子大学附属幼稚園
開設：昭和30年4月

○在籍数一覧 表①参照

(4) 役員・教職員

理事9人・監事2人・評議員21人
※理事会・評議員会
理事会4回開催、評議員会3回開催、監事監査1回実施、会計士監査4回

(5) 教職員 表②参照

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬責任・自由」と学園の基本方針である「品位高尚」「秩序儉約」「創造自立」

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数(1,450人：昨年比302名減) 学則等収容定員(2,539人) 単位:名

Table with columns for course name, enrollment, and capacity. Includes University of Jozei and Jozei University.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University and Jozei University Junior College.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Junior College and Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

Table with columns for department, enrollment, and capacity. Includes Jozei University Attached Kindergarten.

を元に、それぞれの学科・部署において計画した教育・運営に関する事項を実施した。
(1) 法人関係
・新形式年度当初学園全体職員会
・平成25年度大学入試センター試験会場校
・年度末学園全体職員会
(2) 大学院・大学・短大で実施した主な事業
・大学第47回、短大第63回、専攻科第13回入学式
・第1回〜第3回オープンキャンパス
・平成25年度大学・短大入学者選抜実施内容及び教育内容等説明会
・KGCサマリーフレッシュプログラム
【教員免許更新講習会】
・AO生1期〜3期選抜実施

・大学3年編入1期〜3期選抜実施
・大学短大「高大連携生」選抜実施
・大学短大「特待生・指定校生公募推薦生」1期特別生1期「選抜実施」
・大学入学生・短大公募推薦生2期特別生2期専攻科1期「選抜実施」
・第9回市民フォーラム「郡山女子大学家政学部食物栄養学科主催」環境中の放射線とその影響
・大学短大「一般生1期〜2期」大学3年編入2期〜3期「選抜実施」
・大学院修士課程第20回修了式、大学第44回、短大第62回専攻科第12回卒業式
その他
主任・大学・短大教授会・研究科委員会(月1回)、入試判定委員会、学生生活委員会、就職対策委員会、担当者会議、期末試験、教育実習、定期演奏会、卒業研究発表、健康診断、学生相談、教育課程体験事前指導など
※平成24年度卒業生就職状況
大学 卒業生数119人 就職希望者101人(就職率100%)
就職希望者101人(就職率100%)

短大 卒業生数274人 就職希望者239人 就職決定者数234人(就職率98%)
(3) 附属高等学校
「私を創る―未来の私を考えて―」という努力目標を掲げ、生徒一人ひとりが自分の目標設定し、高校生活をより有意義に送る為に、生徒の自己啓発と自覚性を育成するという観点から、全教員が一丸となって取り組んだ。教師自身も、各学科教科や各部署学年それぞれにおいて、努力目標を設定し、その目標実現のために充分に努力した。
実施した主な事業
・附属高等学校第56回入学式
・体験入学(高校)
・修学旅行(第2学年)
・入試内容等説明会(3回)
・附属高等学校特待生推薦生選考会
・附属高等学校学力選考会
・附属高等学校第54回卒業式
・附属高等学校新入生説明会
その他
職員会議・運営委員会(月1回開催)
考査(前期中間、前期末、後期中間、後期末、追、再、音楽科実技等)実力テスト、教育実習、進学相談会、集会、表彰伝達式、壮行会、交通安全教室、列車通学者指導、自転車点検、健康診断、校内合唱コンクール、校内球技大会、定期演奏会、卒業発表会、卒業作品展など
・部活動及び応募等の全国大会出場
・第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会出場
・第67回国民体育大会出場
・新体操・第12回マーチング&バンドステージ全国大会優秀賞、講評者特別賞受賞
・第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選
・第16回全国きものデザインコンテスト金賞、銀賞、入選
・第60回全国高等学校校決勝弁論大会優勝
(4) 附属幼稚園
本園は、「よくみる、よくきく、よくかんがえて」を教育目標として、教職員全員が一丸となって、園児一人ひとりにきめ細かい保育と基本的な生活習慣を身につけさせるとともに集団での遊びにも力を入れて保育を行った。特に、園児の事故をなくすことに努め、生活指導に力を入れ、安全管理に心がけ生活習慣の形成の徹底を図ること、園児一人ひとりの気配りを良くすること、教師間の連携を十分に図ることに努力した。
延長保育は、仕事や家事都合等で

利用する家庭も多く、家庭的な雰囲気の中で保育が進められた。
実施した主な事業
・附属幼稚園第58回入園式
・平成25年度入園説明会(2回)
・附属幼稚園運動会(第二体育館)
・平成25年度入園面接、1日入園
・附属幼稚園第58回卒園式
その他
・春秋の遠足、保育参観、お泊り保育、七五三、ぼくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちゃつき、節分のおあつまり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブなど
(5) 家庭寮(新入生16名)
・新入寮生オリエンテーション、リーダー会議(月1回開催)、入寮生歓迎会、お食事会、七夕会、いもに会、クリスマス会等
(6) 大学図書館(高校分館を含む)
・本学園図書高大連携打合せ会
・運営委員会蔵書点検
(7) 学園創立者関口育英奨学生採用
・平成24年度 大学生6名、短大生10名、高校生10名 計26名
(8) 学生生徒・園児募集
・進学相談会(会場形式19回)
・高等学校訪問(延べ469校)
・中学校訪問(延べ101校)
・園児募集(パンフレット)
(9) 安全管理
・学生生徒・園児の安全対策(警備の強化による安全確保、32台の監視カメラを配置、夜間の警備員により、特に下校時や部活動帰りの学生生徒の安全に努めている。
・交通事故防止ポスター掲示等で安全運転の啓発を行っている。
・避難訓練(大学短大1回、高校1回、幼稚園2回、家庭寮2回)
(10) 施設・設備関係
各学科毎に安全性(放射線対策等)とアメニティ(快適な空間)に配慮した教育研究環境の整備を優先順位により行った。
1 西門前土地買収(郡山市島二丁目11番/362㎡)
2 つじ館空調設備
3 創学館屋上太陽光発電蓄電池
4 第2次除染対策(学園キャンパス全域)施工
5 学生教職員用ノートPC
6 食品放射能測定機器1台
7 介護実習用機器
8 大学図書館システム更新

9 本部キャンパス内及び附属高校内、附属幼稚園内防犯カメラ
10 附属高校教務システム
(11) 環境関係
①地球温暖化対策の取組を評価する「第4回エコランキング」において全国147大学中総合8位。
②平成24年度「福島議定書」事業において事業所部門で郡山女子大学がゼロエミッション部門賞を、附属高校が高校部門優秀賞を受賞した。
③11月7日、8日にビッグパレットふくしまで開催された「ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2012」へ環境委員会が出展し、本学の環境活動をアピールした。
※家族会等
・家族会総会(6月9日)
・家族会役員・常任委員会合同委員会(4月、6月、12月)
・家族会方別教育懇談会(開催時期は7月上旬から7月下旬)
・県南・郡山方面会(高校)
・計2方部、南東北・浜通・関東・北東北・福島・会津・県南・郡山方面会(大学・短大) 計8方部
※平成24年度芸術鑑賞・教養講座
○第176回芸術鑑賞講座「ミラノ・クラシカ合唱団」(6月15日)(金)
○第177回芸術鑑賞講座「吉田兄弟」(7月10日)(火)
○第178回芸術鑑賞講座「斎藤清版画展」(10月2日)(火)〜7日(日)
○第179回芸術鑑賞講座「劇団四季「カンパの大冒険」」(11月13日)(火)
○第1回教養講座「心に木を植える」講師 クライプウィリアムズ・ニコル氏 4月22日(日)
○第2回教養講座「宇宙からのメッセージ」講師 山崎直子氏 10月29日(月)
※東日本大震災の被災地におけるシンポジウム
・講演「安全・安心な生活環境を求めて」講師 児玉龍彦氏
・シンポジウム「東北被災大学のこの1年の取組みと地域貢献」コーディネーター 関口修学長、シンポジスト 原正夫氏、日高義博氏、関口武司氏、遠藤静子氏 8月8日(水) 開成学園建学記念講堂
※名誉学園長関口富左先生の学園葬
平成25年1月3日(木)逝去
平成25年1月29日(火)学園葬
於：郡山開成学園建学記念講堂
一般会葬者：1,323人

表② 教職員 226名(教育職員154名 事務職員72名)

Table with columns for school name, number of teachers, staff, and total. Includes Jozei University and Jozei University Junior College.

☆時間雇用職員 7名

# 1 資金収支計算書

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。  
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,162,200,000	1,161,326,250	873,750
手数料収入	19,130,000	19,642,937	△ 512,937
寄付金収入	18,000,000	11,003,000	6,997,000
補助金収入	737,860,000	860,371,550	△ 122,511,550
国庫補助金収入	390,900,000	486,446,000	△ 95,546,000
地方公共団体(県)補助金収入	343,230,000	370,462,950	△ 27,232,950
地方公共団体(市)補助金収入	3,730,000	3,462,600	267,400
資産運用収入	76,800,000	84,863,455	△ 8,063,455
資産売却収入	100,000	0	100,000
事業収入	51,500,000	56,288,800	△ 4,788,800
雑収入	133,400,000	129,861,351	3,538,649
前受金収入	286,500,000	304,777,700	△ 18,277,700
その他の収入	603,299,966	812,755,086	△ 209,455,120
資金収入調整勘定	△ 500,000,000	△ 427,303,728	△ 72,696,272
前年度繰越支払資金	2,501,420,034	2,501,420,034	—
資金収入の部 合計	5,090,210,000	5,515,006,435	△ 424,796,435

補助金収入が見込みを上回りました。

有価証券からの繰入収入を200,000,000円計上しました。

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,900,100,000	1,906,368,397	△ 6,268,397
教育研究経費支出	572,130,000	608,229,452	△ 36,099,452
管理経費支出	112,350,000	130,961,178	△ 18,611,178
施設関係支出	45,240,000	46,370,520	△ 1,130,520
設備関係支出	75,640,000	89,101,540	△ 13,461,540
資産運用支出	1,300,000,000	1,323,958,460	△ 23,958,460
その他の支出	143,899,838	159,558,813	△ 15,658,975
予備費	7,900,000	—	7,900,000
資金支出調整勘定	△ 26,899,838	△ 84,802,251	57,902,413
次年度繰越支払資金	959,850,000	1,335,260,326	△ 375,410,326
資金支出の部 合計	5,090,210,000	5,515,006,435	△ 424,796,435

主に賃借費及び除染関連工事追加に伴う支払報酬費の増加によるものです。

# 2 消費収支計算書

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。  
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,162,200,000	1,161,326,250	873,750
手数料	19,130,000	19,642,937	△ 512,937
寄付金	26,000,000	26,831,274	△ 831,274
補助金	737,860,000	860,371,550	△ 122,511,550
国庫補助金	390,900,000	486,446,000	△ 95,546,000
地方公共団体(県)補助金	343,230,000	370,462,950	△ 27,232,950
地方公共団体(市)補助金	3,730,000	3,462,600	267,400
資産運用収入	76,800,000	84,863,455	△ 8,063,455
資産売却差額	100,000	0	100,000
事業収入	51,500,000	56,288,800	△ 4,788,800
雑収入	133,400,000	129,861,351	3,538,649
帰属収入合計	2,206,990,000	2,339,185,617	△ 132,195,617
基本金組入額合計	△ 128,880,000	△ 64,164,372	△ 64,715,628
消費収入の部合計	2,078,110,000	2,275,021,245	△ 196,911,245

除却資産約40,000,000円の計上があったためです。

科目	予算	決算	差異
人件費	1,897,000,000	1,891,240,530	5,759,470
教育研究経費	1,012,250,000	1,050,030,286	△ 37,780,286
管理経費	115,730,000	134,335,597	△ 18,605,597
資産処分差額	1,000,000	2,502,077	△ 1,502,077
予備費	1,000,000	—	1,000,000
消費支出の部合計	3,026,980,000	3,078,108,490	△ 51,128,490

当年度消費支出超過額	948,870,000	803,087,245	—
前年度繰越消費支出超過額	4,382,900,020	4,382,900,020	—
翌年度繰越消費支出超過額	5,331,770,020	5,185,987,265	—

# 4 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。  
平成25年3月31日現在

項目	金額	備考
基本財産	7,495,395,172	
土地	182,438.30㎡	2,763,869,930
建物	50,943.64㎡	3,715,742,803
構築物	290点	99,098,764
教育研究用機器備品	13,459点	377,663,232
その他の機器備品	775点	12,066,339
図書	155,346冊	487,063,598
車両	2台	3,135,676
建設仮勘定		2,100,000
水道施設利用権	656.664	減価償却累計額 18,108,926
借地権	980,389	
電話加入権	2,918,498	
ソフトウェア	5件	30,099,279
運用財産	3,848,586,074	
現金・預金	2,635,260,326	預入先 東邦銀行他2行
有価証券	500,000,000	外国債券
出資金	9,951,400	福島県私学振興基金協会他
育英奨学基金引当特定資産	569,747,140	
未収入金	127,863,628	退職金財団交付金他
前払金	11,630	
その他の資産	5,751,950	
資産合計	11,343,981,246	
固定負債	946,682,302	
退職給与引当金	892,897,564	退職給与に係る見積債務額
長期未払金	53,784,738	
流動負債	438,783,767	
未払金	39,685,203	
前受金	304,777,700	平成25年度生入学金等
預り金	94,320,864	
負債合計	1,385,466,069	
差引正味財産	9,958,515,177	

# 平成24年度 決算報告

学校法人郡山開成学園の平成二十四年度決算について、東邦監査法人の監査を受け、理事会・評議員会で報告決定されましたので、その概要をご報告いたします。

平成二十四年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、5,515,006,435円となり、予算より424,796,435円上回りました。これは、主として、寄付金収入、雑収入等では見込みを下回りましたが、補助金収入、その他の収入等で見込みを上回ったためです。

資金支出は、資金支出調整勘定で見込みを下回りましたが、その他すべての支出で見込みを上回ったため、4,179,746,600円となりました。

その結果、次年度繰越支払資金は、1,335,260,326円となり、予算より375,410,326円増となりました。

7千円に、平成二十三年度決算の繰越消費支出超過額4,382,900,020円を加え、翌年度繰越消費支出超過額は、5,185,987,265円となりました。

一方、貸借対照表では、資産に関しては、将来に備え、教育、研究、施設等を充実させるため、資金を計画的に積立て、安全で有利な資産運用に努めております。

また、負債に関しては、退職給与引当金の計上、及び次年度授業料等前受金、期末未払金等以外には、金融機関等からの借入金もなく、健全な財務状況にあります。

平成二十四年度末の正味資産は、前年度比738,922千円減少し、9,958,515千円となっております。

# 監査報告書

平成二十五年五月二十八日  
学校法人 郡山開成学園  
監事 橋本 忠雄  
監事 遠藤 武士

私たちは、学校法人郡山開成学園の監事として、私立学校法第三十七条第三項に基づいて同学園の平成二十四年度(平成二十四年四月一日から平成二十五年三月三十一日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実はないことを確認いたしました。

# 3 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。  
平成25年3月31日現在

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,875,593,712	9,064,592,248	811,001,464
有形固定資産	7,460,740,342	7,766,350,078	△ 305,609,736
土地	2,763,869,930	2,744,921,500	18,948,430
建物	3,715,742,803	4,055,292,235	△ 339,549,432
構築物他	981,127,609	966,136,343	14,991,266
その他の固定資産	2,414,853,370	1,298,242,170	1,116,611,200
長期定期預金	1,300,000,000	0	1,300,000,000
有価証券	500,000,000	700,000,000	△ 200,000,000
ソフトウェア他	614,853,370	598,242,170	16,611,200
流動資産	1,468,387,534	3,003,287,336	△ 1,534,899,802
現金預金	1,335,260,326	2,501,420,034	△ 1,166,159,708
未収入金他	133,127,208	501,867,302	△ 368,740,094
資産の部合計	11,343,981,246	12,067,879,584	△ 723,898,338

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	946,682,302	927,111,596	19,570,706
退職給与引当金	892,897,564	908,025,431	△ 15,127,867
長期未払金	53,784,738	19,086,165	34,698,573
流動負債	438,783,767	443,329,938	△ 4,546,171
授業料等前受金	294,344,900	291,760,900	2,584,000
預り金他	144,438,867	151,569,038	△ 7,130,171
負債の部合計	1,385,466,069	1,370,441,534	15,024,535

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	14,898,502,442	14,834,338,070	64,164,372
第4号基本金	246,000,000	246,000,000	0
基本金の部合計	15,144,502,442	15,080,338,070	64,164,372

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 5,185,987,265	△ 4,382,900,020	△ 803,087,245
消費収支差額の部合計	△ 5,185,987,265	△ 4,382,900,020	△ 803,087,245

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	11,343,981,246	12,067,879,584	△ 723,898,338

参考

正味資産	9,958,515,177	10,697,438,050	△ 738,922,873
減価償却の累計額	7,484,892,195	7,077,363,663	407,528,532

(※正味資産=資産-負債)

祝・入学 第180回芸術鑑賞講座

### 田部京子／カルミナ四重奏団 演奏会

ピアノの名手田部京子さんとカルミナ四重奏団を招いての、祝・入学第180回芸術鑑賞講座が6月14日、建学記念講堂で行われた。

田部さんは高校在学中、日本音楽コンクールに最年少で優勝、東京芸術大学に進学後、ベルリン芸術大学、大学院を首席で卒業、多くの国際コンクールで受賞、世界のトップアーティストから厚い信頼を寄せられている。

カルミナ四重奏団はスイスで結成され、世界の舞台で25年間演奏し続けている。今回はピアノと弦楽四重奏の共演が実現。メンデルスゾーンの無言歌集より「ベニスのゴンドラ」の歌第2番、シューマンの子供の情景より「トロイメライ」など5曲が演奏された。



ピアノと弦楽四重奏の夢の共演

### 天理大学と環境活動に関する交流会

【NLS部】

8月30日に奈良県天理市にある天理大学からの要請で、学生の環境活動に関する交流会が天理大学と郡山女子大学との間で行われました。天理大学からは学生34名と教職



天理大学と交流を深めたNLS部

員8名郡山女子大学からは環境活動を行っているNLS部の学生16名と教職員7名が参加しました。

交流の内容は、NLS部が調べた本学のエコキャンパスの取り組み、学園内の太陽光発電、学内放射線量の調査について、環境委員会とNLS部が共同で行った環境活動などの報告を行いました。天理大学の学生は、大学が募った東日本大震災の被害他のボランティア活動に参加した人たちでした。

その後、午後には学園内を案内し、RI室や太陽光発電などの施設を説明しながら、大学生活に関することなど互いに交流を深めました。天理大学にNLS部の活動やエコキャンパスの取り組みの説明をする中で、私たちのエコキャンパス活動が経費の削減を生み、その予算で快適な生活環境を広げていることを改めて確認しました。皆さんもNLS部と一緒に活動しませんか!!

初参加で大賞受賞

### うねめ祭り・踊り流しコンクール

商都郡山の夏を彩る第49回うねめまつりが8月1日から3日間、郡山駅前大通りなどで開催された。最終日の3日には「踊り流しコンクール」が行われ、初参加の本学が大賞を受賞した。

最終日の踊り流しコンクールには33団体・3200人が踊った。本学は大学・短大の学生・附属高校の生徒・教職員など300人がお揃いのTシャツ(大学・短大生・教職員はネイビー、高校生はシヨッキングピンク)姿で見事な踊りを披露し、卒業生や市民から大声援を受けていた。「大賞は郡山女子大学」とアナウンスされると大歓声が上がりました。学生・生徒らは抱きあつて喜んでいました。石村副学長は「短期間の練習で、郡山女子大の元気を発信してくれた学生や生徒に感謝します」と述べた。



シヨッキングピンクがお似合い附属高校

個人の部でも佐々木彩夏さん(短大・音楽1年)、横尾英恵教諭(附属高校)、鈴木祥子講師(短大・幼教)が選ばれた。



太宰先生を先頭に見事な踊りを披露

### お知らせ 自動車通学が可能に 大学・短大の学生

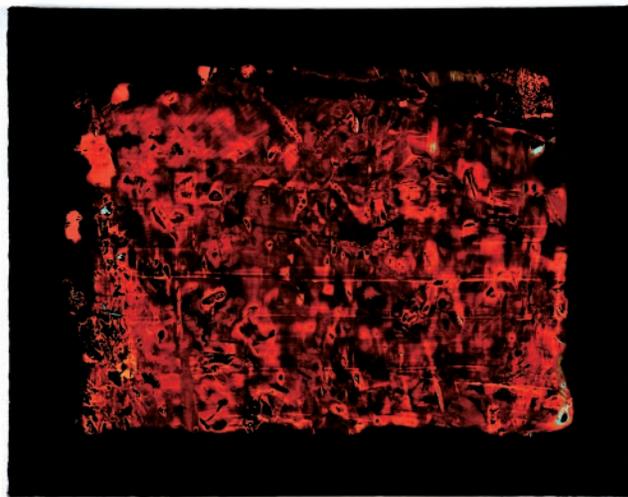
8月1日から国道49号線沿い駐車場(125台駐車可)の運用が開始され、大学・短大生の自動車通学が可能となった。

自動車通学を希望する学生は必要事項を記入の上、学生生活部に申し込むこと。これに伴い、学生の教職員用駐車場の利用は一切できません。\*詳しくは学生生活部へ。

本学所蔵 紙上美術展71

### 「乾漆盤」

創学館1階に展示されている



郡山開成学園では開学以来、芸術鑑賞講座として演奏会や演劇、美術展などを開催している。今回は第67回もみじ会期間中の同時開催として「角田弘司・純一 漆芸二人展」を開催する。

お二人は会津を拠点に制作活動が続けている漆芸家で、10月8日から13日まで、父子の代表作「石垣」「田園」など25点を展示する。

これらの作品を写真の「乾漆盤」を使用して、色漆の調子や乾き具合を見ながら完成させている。

### 木もれ陽

大曲駒村(おおまがり・くそん、1882~1943)というひとがいた。福島県相馬郡小高町(現在の南相馬市)の出身で、銀行勤務の傍ら俳句をたしなんだ。銀行を退職した後は古川柳の研究に没頭、「川柳語彙」全16巻という大著をものしたことで知られる。

この大曲駒村は1923(大正12)

年9月1日、関東大震災に遭遇する。当時駒村は果鴨に居住していたが、その日はたまたま新宿の友人宅に居た。かろうじて難を逃れて自宅に戻り、家族の安否を確認した後に、当時の東京市内の状況や報道(震災当初は張り出し号外である)の様子を

つづさに冷静に記録し、この年の10月に仙台の印刷所から出版した。『東京灰燼記』(東北印刷株式会社出版)のち中公文庫に収録)がそれである。個人が採録した、他の関東大震災の記録に比してこの本が珍しいのは、「図書の行衛」という頁を割いて、市内の書庫、古書店、そして公共及び大学図書館の罹災について記録していることである。著書の「記録」への関心を伺わせるに足る。

この号が出るより前に、本学の防災避難訓練が実施されている。我々もまた、未曾有の災害の経験者である。記録を残した先人の意思を継承し、自然災害への備えをより怠りなく務めていかねばならない。

(和知)